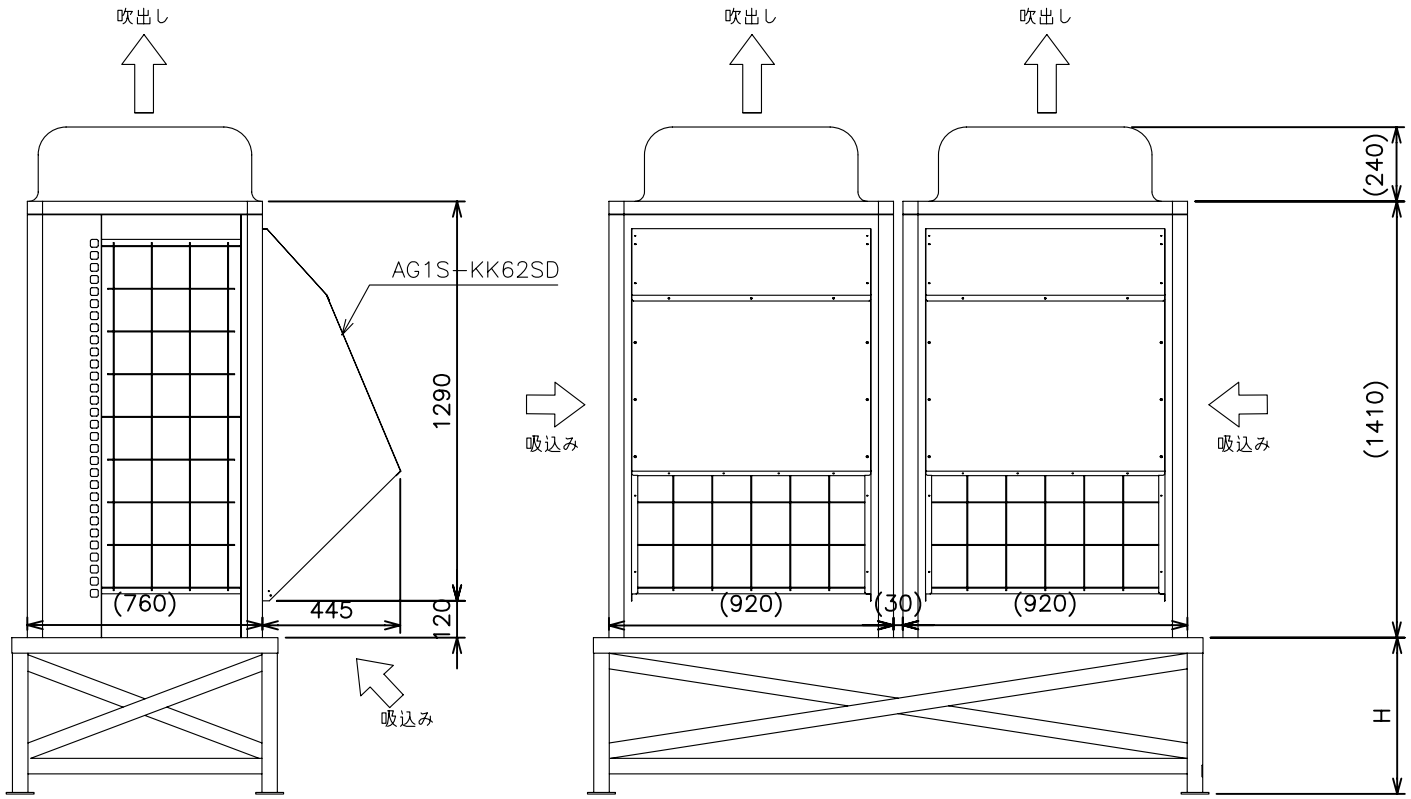

D

室外ユニット形名	
PUHY−P560SCM−E1	PCHVX−P560CM−E
PUHY−P630SCM−E(1)(3)	PCHVD−P560CM−E
PUHY−P690SCM−E(1)(3)	PCHVT−P560CM−E
PUHY−P730SCM−E(1)(3)	PFHV−HP450CM−E
PUHY−P800SCM−E(1)(3)	PFHV−HP560CM−E
PUHY−RP450SCM−E(1)(3)	PFTV−P500CM−E
PUHY−RP500SCM−E(1)(3)	PCTFX−P460MA
PUHY−RP560SCM−E(1)(3)	PCTFD−P465MA
PUHY−RP630SCM−E3	PCTFT−P475MA
PUHY−RP690SCM−E3	PCTFS−P475LA
PUHY−RP730SCM−E3	PCTFD−P500LA
PUHY−HP450SCM−E(1)	PUHY−EP450SCM−E3
PUHY−HP560SCM−E(1)	PURY−EP450SCM−G
PURY−P500SCM−E(1)	PURY−P500SCM−G
PURY−P560SCM−E(1)	PURY−P560SCM−G
PURY−P630SCM−E(1)	PURY−P630SCM−G
PURY−P690SCM−E(1)	PURY−P690SCM−G
PUHY−HRP450SCM−E	PUHY−HP450SCM−G
PUHY−HRP560SCM−E	PUHY−HP560SCM−G
PUHY−P560SCM−E2	PUHY−HRP450SCM−G
PUHY−P630SCM−E2	PUHY−HRP560SCM−G
PUHY−P690SCM−E2	PFHV−P450CM−E
PUHY−P730SCM−E2	
PUHY−P800SCM−E2	
PURY−EP450SCM−E	
PFHV−P560CM−E(−S)	
PFHV−P670CM−E	
PFHV−P670CM−E−F	

注１.防雪架台の高さＨは、予想される積雪量の２倍程度として下さい。又、架台はアングル鋼材等で組み立て、風雪の素通りする構造とし架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定して下さい。
（大きすぎると、その上に積雪します）

２.ユニット設置時、季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように考慮してください。又、シュートサイクルにならないように十分なスペースを確保して下さい。

３.屋根から雪が落ちる場所への設置はさけて下さい。又、雪下ろしは早めに実施して下さい。

４.本図を参考として、現地にて架台の製作、施工を実施して下さい。

形名	材質	表面色	重量	備考
AG1S−KK62SD(ﾌｰﾄﾞ部のみ)	SUS304 t1.0	地金色	24.8kg	PAC−KK86SD(2台使用)と互換

改定 CHANGE	
A	適用室外ユニット形名追加 により改定 '09−8−20 岩村 梶村
B	適用室外ユニット形名追加 により改定 '09−11−14 岩村 梶村
C	適用室外ユニット形名追加 により改定 '10−2−12 岩村 梶村
D	適用室外ユニット形名追加 により改定 '11−9−1 都司 梶村

出図先（　）
控　1

三菱電機システムサービス株式会社

DIM.IN mm	作成日付 DATE	'09− 2 −25	検認 APPROVED
尺度 SCALE	作成 DRAWN	加藤（智）	梶村
: NTS	照査 CHECKED	岩村	
	設計 DESIGNED	加藤（智）	

TITLE
AG1S−KK62SD
防雪フード組込図

DWG.No.
X903703M00612